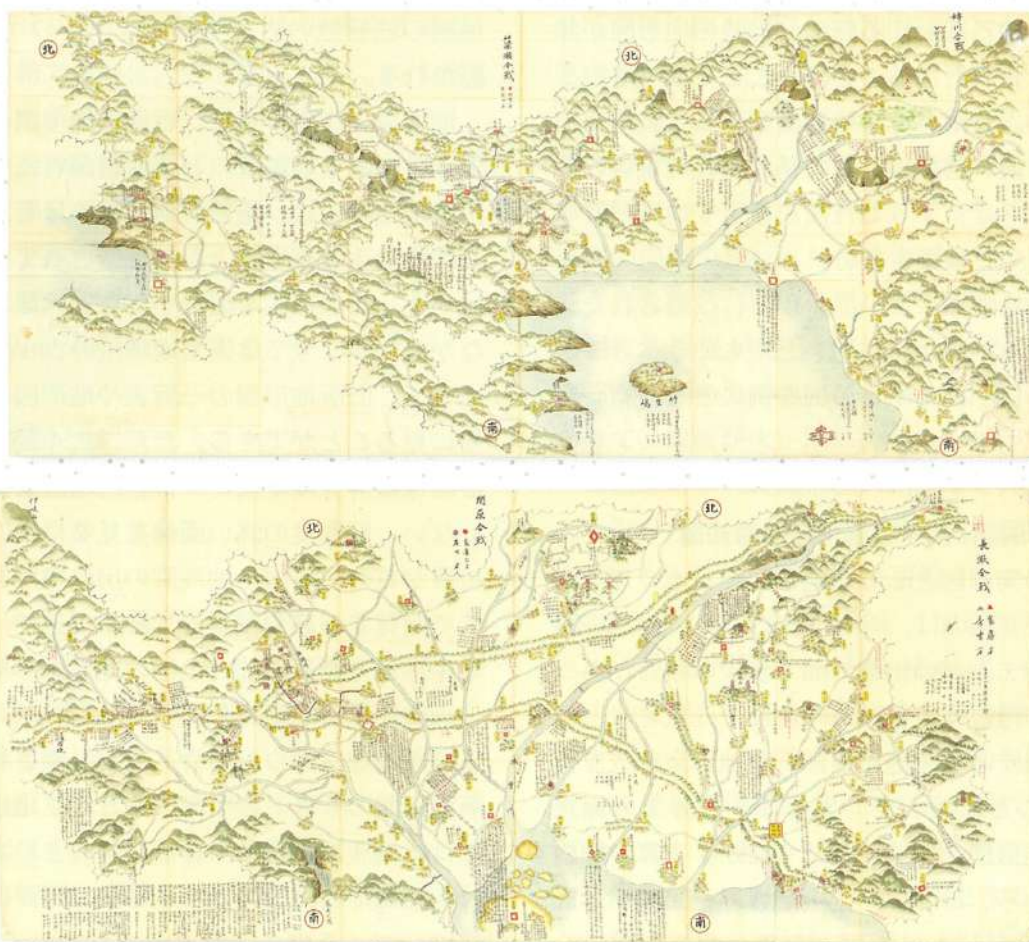




（仮題）「姉川・築瀬および長湫・関原合戦図」

作成年 江戸期 / 作者 不詳 / 原寸 66 × 152cm（2図とも） / 木版多色刷
岐阜県図書館蔵

本図の原図は、加賀前田家に伝わる「四戦場之図屏風」と考えられる。

同屏風は、六曲一双からなり、加賀藩の藩祖前田利家とその嫡男利長（初代藩主）が参戦した代表的な四つの合戦の陣立てについて描かれたもので、同藩の兵学・軍学者であった有沢永貞（1638－1715）が描いたと言われている。

四戦とは、右隻（上段）の姉川と築瀬（柳ヶ瀬・賤ヶ岳の戦い）の合戦、左隻（下段）の長湫（長久手）と関原の合戦である。

本図は屏風形態ではなく、原図にある屏風の周囲

に記載された戦い経緯を著した付記が省かれており、岐阜城や大垣城等の城郭も記号で描かれるなどかなり省略されている。

しかし、江戸時代の街道（中山道・美濃路や脇街道等）や、河川や山地等の地形がよく描かれており、各合戦の位置関係がよく読み取ることができる。また、当時認知度が高かった養老乃瀧も描かれている。

「四戦場之図屏風」の写しは、前田土佐守家資料館（金沢ミュージアム）や名古屋市秀吉清正記念館、犬山城、近くでは羽島市歴史民俗資料館等が所蔵している。

岐阜県古地図文化研究会

〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL.058-275-5111(代) FAX.058-275-5115

E-Mail mapstaff@library.pref.gifu.jp

URL <http://www.library.pref.gifu.lg.jp>